TADANO

決算説明資料

2012年04月

株式会社タダノ

※予測に関する注意事項

・本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて作成しておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。

Lifting your dreams

Lifting your dreams

TADANO

会社概要

【会社名】　株式会社タダノ（1948年8月24日設立）創業者 多田野 益雄
1955年国内初の油圧式トラッククレーンを開発

【代表者】　代表取締役社長（CEO）多田野　宏一

【本社】　香川県高松市新田町甲34番地

【主な事業】　建設用ｸﾚｰﾝ、車両搭載型ｸﾚｰﾝ、高所作業車の製造販売

【事業所】　東京事務所(墨田区)、高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、多度津工場(多度津町)、千葉工場（千葉市）

【拠点】　（国内）10支店、23営業所（海外）北京事務所、中東事務所(UAE･ﾄﾞﾊﾞｲ)

【資本金】　13,021百万円　　【株式】発行済　129百万株　　株主数　9,078人（12年3月末）

【売上高】　114,209百万円（11年度）

【従業員数】　連結 3,113人、単独 1,382人（12年3月末）

【関係会社】国内子会社 11社、国内関連会社 1社、　海外子会社 13社+設立中2社、海外関連会社 2社

㈱タダノアイメス
四国機工㈱、㈱タダノエステック
㈱タダノエンジニアリング
㈱タダノテクノ東日本、㈱タダノテクノ西日本
コンコルド・リース・アンド・ファイナンス㈱
㈱タダノ教習センター
㈱タダノ物流
㈱タダノシステムズ
タダノ産業㈱

日通重機サービス㈱

ファウンGmbH、タダノ・ファウンGmbH、タダノ・ファウン・シュタールバウGmbH［独］
タダノ・アメリカCorp. 、タダノ・マンティスCorp.　［米国］
タダノ・アメリカ・ホールディングスInc.　［米国］
タダノ・ブラジル・エキパメントス・デ・エレヴァサォンLtda.［ブラジル］
京城多田野（北京）液圧機器有限公司、金天利多田野（河北）金属加工有限公司［中国］
多田野華南有限公司［中国］　韓国多田野株式会社　［韓国］
タダノ・アジアPte.Ltd.　［シンガポール］、タダノ・タイランドCo.,Ltd.　［タイ］
タダノ・オセアニアPty.Ltd.［オーストラリア］
タダノ・インディアPvt.Ltd.　［インド］

北起多田野(北京)起重機有限公司　［中国］
台湾多田野股份有限公司　［台湾］

11年度決算のポイント

（単位:百万円）

	10年度		11年度		増減率
	金額	比率	金額	比率	
売上高	89,807	100.0%	114,209	100.0%	＋27.2%
営業利益	-3,733	-4.2%	5,895	5.2%	－
経常利益	-3,886	-4.3%	5,778	5.1%	－
当期純利益	-6,722	-7.5%	3,145	2.8%	－

	10年度	11年度
設備投資額	964百万円	1,584百万円
減価償却費	2,696百万円	2,353百万円
為替レート(US$)	87.81円	79.84円
為替レート(EUR)	116.39円	111.12円

※設備投資額にはﾘｰｽ資産分を含んでおります。
※為替ﾚｰﾄは1-12月期中平均ﾚｰﾄ(海外子会社12月決算のため)

【11年度の経営方針】

①ｺｱﾊﾞﾘｭｰの追求「安全・品質・効率」
②収益力の回復
③中計（11-13）初年度への取り組み

◆増収増益、3年振りの最終黒字
・国内では販売価格の適正化に取り組み、海外への拡販、原価低減を推進。

◆国内売上は増加、海外売上は大幅増加
⇒国内売上高 515億円 → 613億円(+19.0%)
建設用ｸﾚｰﾝ、車両搭載型ｸﾚｰﾝ、高所作業車が揃って増加
⇒海外売上高 382億円 → 528億円(+38.1%)
歴史的円高下にもかかわらず増加

◆海外売上高比率 42.6% → 46.3%

◆収益は、赤字から大幅改善
経常利益　△38億円 → 57億円
当期純利益　△67億円 → 31億円

損益計算書(対前期比較)

(単位:百万円)

	10年度		11年度		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	89,807	100.0%	114,209	100.0%	24,401
売上原価	74,474	82.9%	88,462	77.5%	13,988
割賦販売利益	411	0.5%	278	0.3%	-133
売上総利益	15,745	17.6%	26,025	22.8%	10,280
販管費	19,478	21.7%	20,129	17.6%	650
営業利益	-3,733	-4.2%	5,895	5.2%	9,629
営業外損益	-152	-0.1%	-117	-0.1%	35
経常利益	-3,886	-4.3%	5,778	5.1%	9,664
特別損益	-4,955	-5.5%	155	0.1%	5,111
税引前当期純利益	-8,841	-9.8%	5,933	5.2%	14,775
法人税等	-2,112	-2.4%	2,745	2.4%	4,858
少数株主利益	-6	0.0%	43	0.0%	49
当期純利益	-6,722	-7.5%	3,145	2.8%	9,867

【増減のポイント】

◆売上原価率　82.9% → 77.5%
- 販売価格の適正化、原価低減を推進。
- 原価率は前期比 5.4%改善

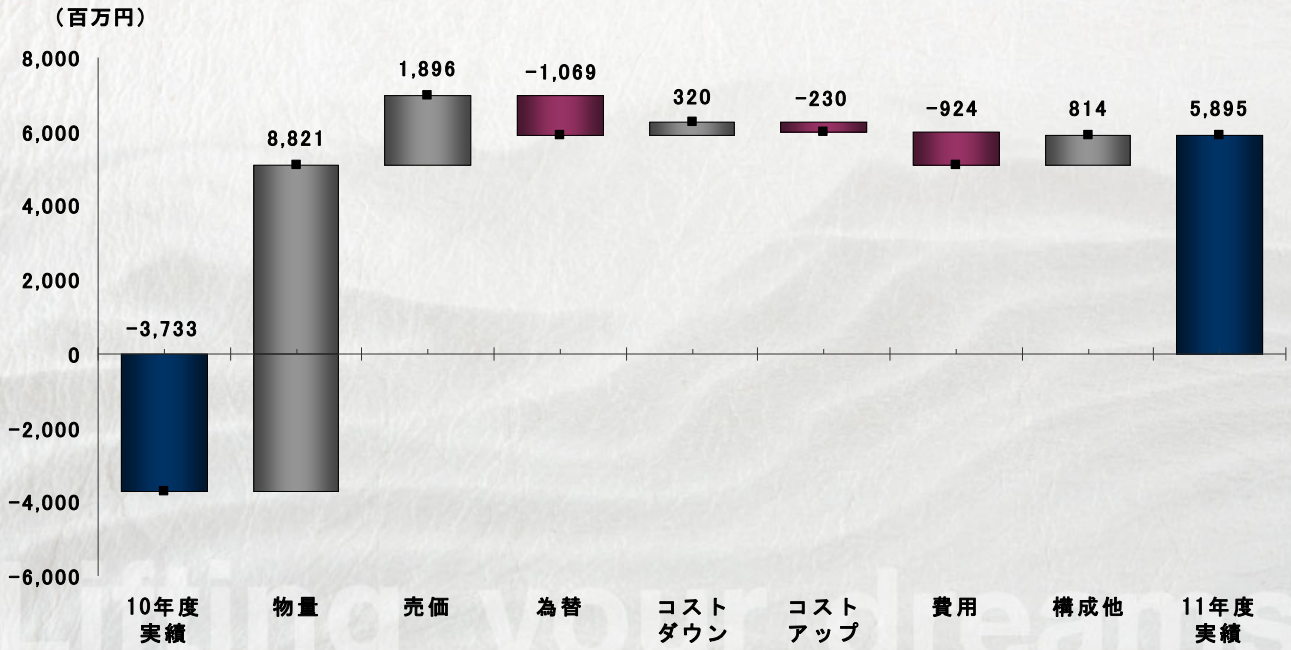
◆販管費　6.5億円増加
- 変動費増加　+1,036百万円
- 人件費増加　+88百万円
- その他諸経費減少　△474百万円

◆営業外損益
- 営業外収益　954百万円 → 719百万円
- 営業外費用　1,107百万円 → 836百万円

◆特別損益
- 特別利益　297百万円 → 174百万円
- 特別損失　5,252百万円 → 18百万円

損益計算書(営業利益の増減要因)

円高に伴う為替影響があったものの、売上増により利益が大幅に増加。販売価格の適正化、構成影響もあり、営業利益は96億円の増加。



貸借対照表(対前期末比較)

(単位:百万円)

	10年度末		11年度末		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
手許資金	30,378	20.8%	40,225	25.0%	9,847
売上債権	30,498	20.9%	35,041	21.8%	4,542
たな卸資産	30,771	21.1%	34,205	21.2%	3,434
その他	5,000	3.3%	4,572	2.8%	-428
流動資産計	96,648	66.1%	114,045	70.8%	17,396
有形固定資産	34,565	23.6%	33,449	20.8%	-1,115
無形固定資産	827	0.6%	867	0.5%	40
投資その他の資産	14,124	9.7%	12,813	7.9%	-1,310
固定資産計	49,516	33.9%	47,130	29.2%	-2,386
資産合計	146,165	100.0%	161,176	100.0%	15,010

仕入債務	14,425	9.9%	28,331	17.6%	13,906
有利子負債	40,189	27.5%	38,101	23.6%	-2,087
その他	15,956	10.9%	16,224	10.1%	268
負債計	70,571	48.3%	82,657	51.3%	12,086
純資産計	75,594	51.7%	78,518	48.7%	2,924
負債・純資産計	146,165	100.0%	161,176	100.0%	15,010

【増減のポイント】

◆売上債権は増加

304億円 → 350億円

⇒売上債権回転期間は改善

(10年度:124.0日→11年度:112.0日)

◆たな卸資産は増加

307億円 → 342億円

(342億円のうちFAUNｸﾞﾙｰﾌﾟ分72億円)

⇒たな卸資産回転期間は改善

(10年度:125.1日→11年度:109.3日)

◆有利子負債は減少

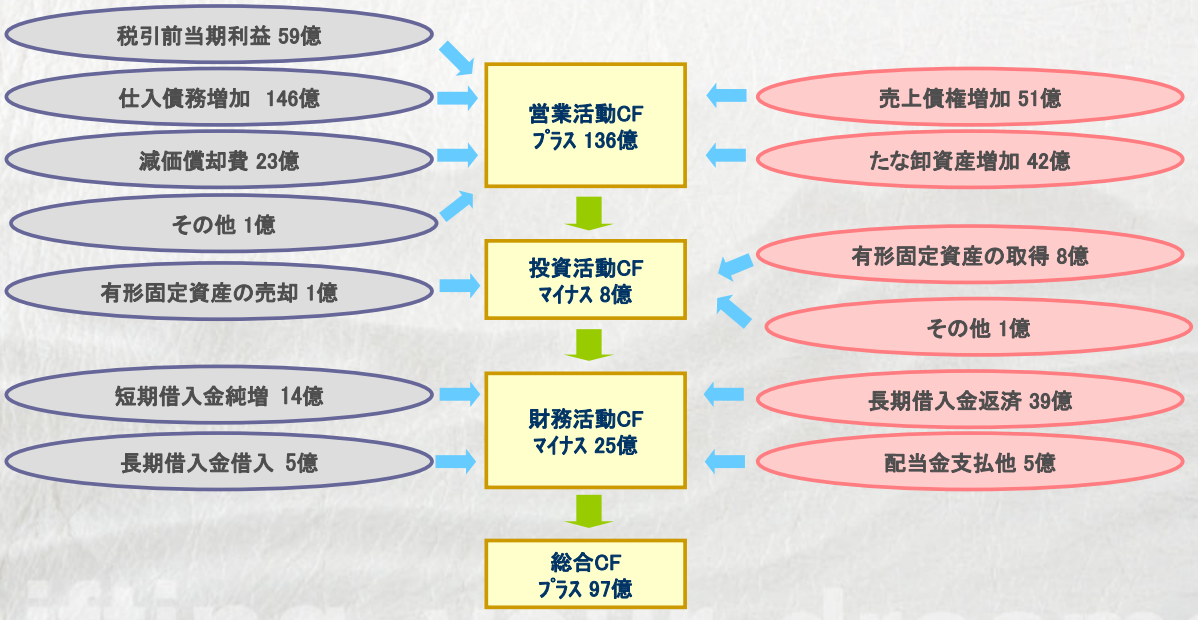
401億円 → 381億円

⇒短期 3.6億円減少、長期 19億円減少

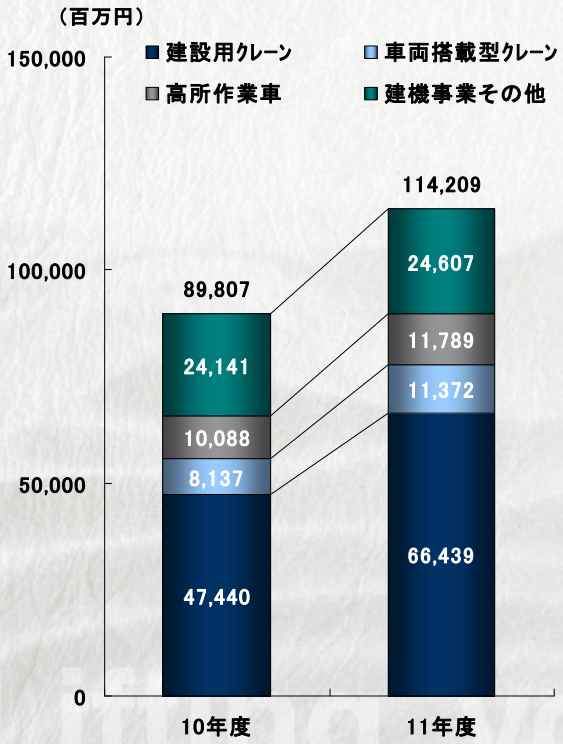
ﾘｰｽ債務 1.8億円増加

キャッシュ・フローの概要

税引前当期利益の計上と、仕入債務の増加等により有形固定資産の取得や借入金の返済を行い、総合キャッシュ・フローは97億円の増加



製品別売上高



（単位：百万円）

	10年度		11年度		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	47,440	52.8%	66,439	58.2%	18,999	40.0%
車両搭載型クレーン	8,137	9.1%	11,372	10.0%	3,235	39.8%
高所作業車	10,088	11.2%	11,789	10.3%	1,701	16.9%
その他	24,141	26.9%	24,607	21.5%	466	1.9%
合計	89,807	100%	114,209	100%	24,401	27.2%

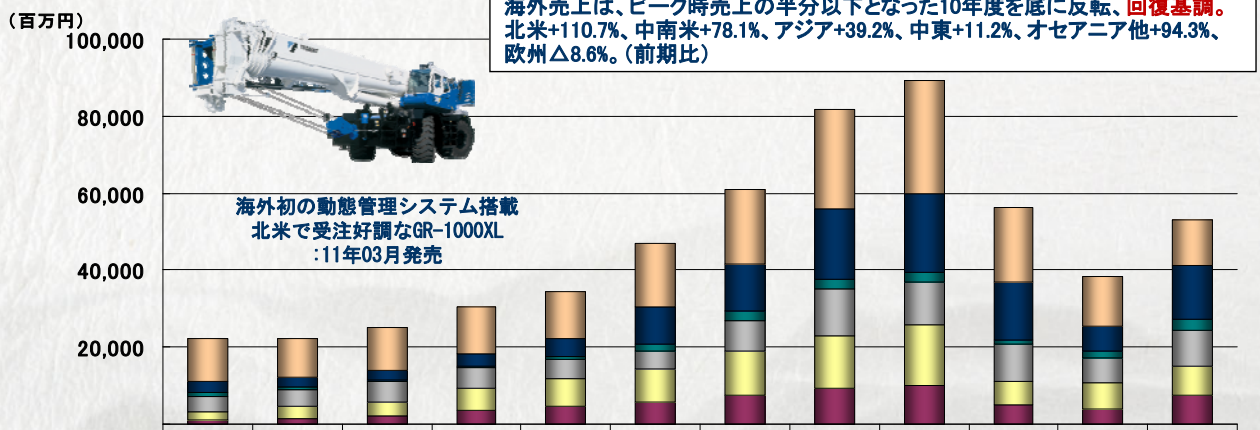
◆海外売上高比率　42.6% → 46.3%

※建設用クレーン、国内及び海外の内訳

国内	19,866	24,146	4,279	21.5%
海外	27,574	42,293	14,719	53.4%

Unleash your dreams

海外仕向地別売上高推移



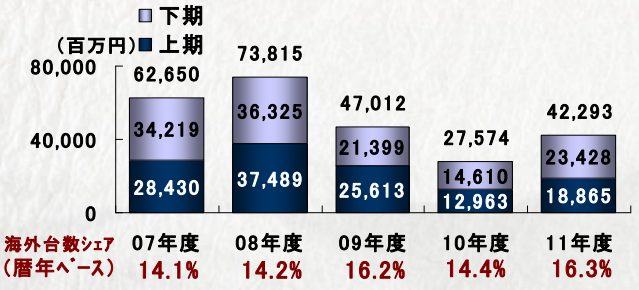
	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
□欧州	11,435	9,754	10,893	11,978	12,000	16,292	19,170	25,566	29,630	19,196	12,739	11,643
■北米	2,671	2,739	2,755	3,402	4,547	9,798	12,324	18,342	20,145	15,301	6,616	13,938
■中南米	948	586	287	457	866	1,721	2,420	2,542	2,722	887	1,691	3,012
□アジア	4,225	4,368	5,362	5,185	4,888	4,749	7,861	12,069	10,954	9,680	6,603	9,190
□中東	2,142	3,098	3,602	5,663	7,347	8,507	11,708	13,878	15,836	5,948	6,686	7,432
■オセアニア他	956	1,524	2,066	3,696	4,634	5,790	7,409	9,158	10,063	5,177	3,939	7,654
合計	22,379	22,072	24,968	30,384	34,285	46,859	60,894	81,557	89,354	56,191	38,277	52,872
為替レート（US$）	107.83	121.54	125.35	115.99	108.24	110.21	116.38	117.84	103.46	93.57	87.81	79.84
為替レート（EUR）	99.63	108.80	118.41	131.03	134.47	136.92	146.14	161.24	152.44	130.20	116.39	111.12
海外売上比率	23.8%	25.0%	30.1%	31.4%	33.7%	38.8%	42.1%	46.8%	54.9%	53.9%	42.6%	46.3%

※為替レートは期中平均レート（海外子会社12月決算のため、通期1-12月平均）
01年度以前はDMをEURに換算したものを表示しております。

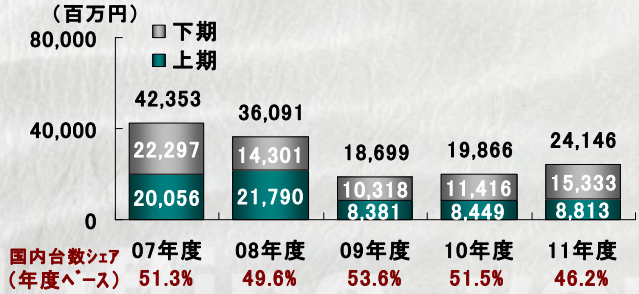
Unleash your dreams

建設用クレーン

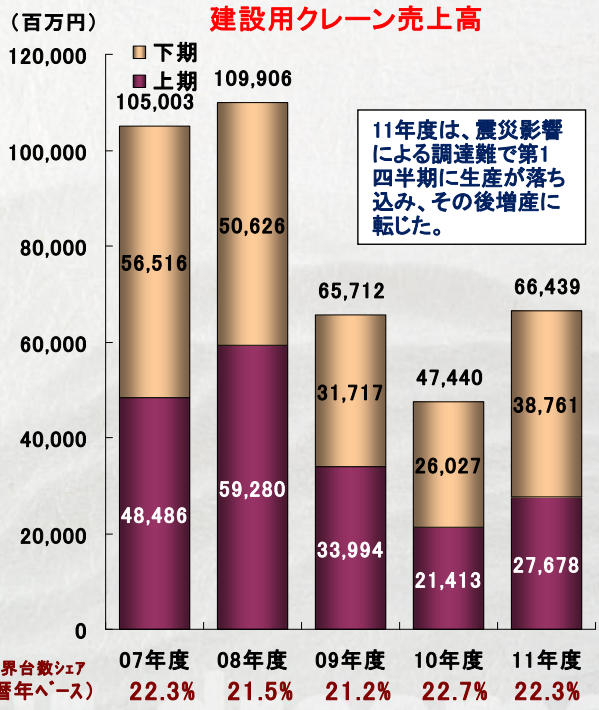
建設用クレーン売上高（海外）



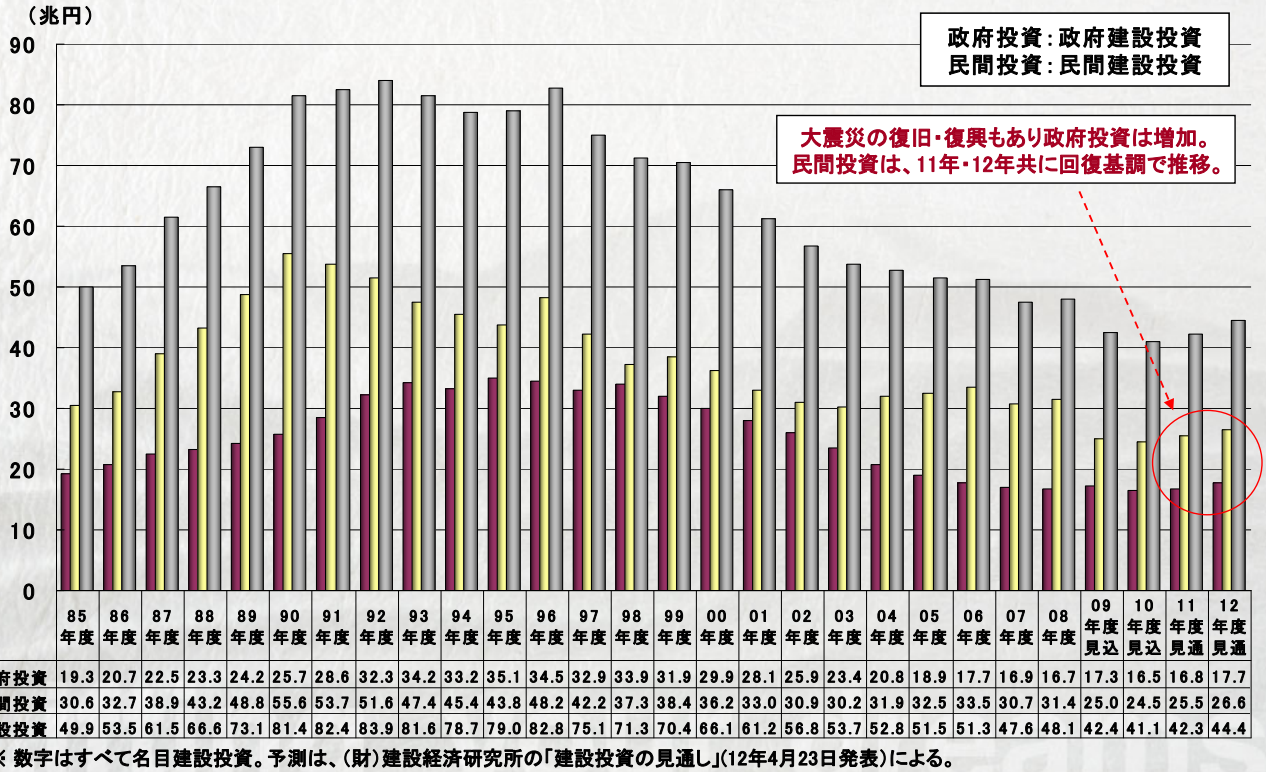
建設用クレーン売上高（国内）



建設用クレーン売上高



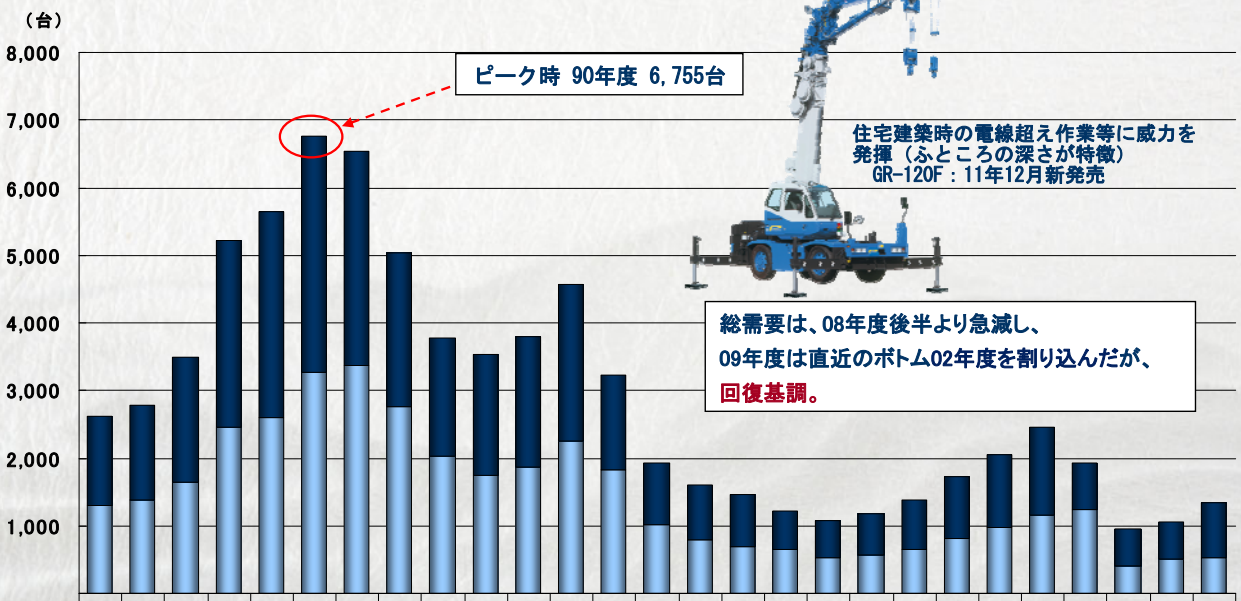
国内建設投資の推移と見通し



	85年度	86年度	87年度	88年度	89年度	90年度	91年度	92年度	93年度	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度見込	10年度見込	11年度見通	12年度見通
政府投資	19.3	20.7	22.5	23.3	24.2	25.7	28.6	32.3	34.2	33.2	35.1	34.5	32.9	33.9	31.9	29.9	28.1	25.9	23.4	20.8	18.9	17.7	16.9	16.7	17.3	16.5	16.8	17.7
民間投資	30.6	32.7	38.9	43.2	48.8	55.6	53.7	51.6	47.4	45.4	43.8	48.2	42.2	37.3	38.4	36.2	33.0	30.9	30.2	31.9	32.5	33.5	30.7	31.4	25.0	24.5	25.5	26.6
建設投資	49.9	53.5	61.5	66.6	73.1	81.4	82.4	83.9	81.6	78.7	79.0	82.8	75.1	71.3	70.4	66.1	61.2	56.8	53.7	52.8	51.5	51.3	47.6	48.1	42.4	41.1	42.3	44.4

※ 数字はすべて名目建設投資。予測は、(財)建設経済研究所の「建設投資の見通し」(12年4月23日発表)による。

建設用クレーンの国内総需要の推移



	85年度	86年度	87年度	88年度	89年度	90年度	91年度	92年度	93年度	94年度	95年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
■ 下期総需要	1,314	1,390	1,849	2,755	3,039	3,489	3,173	2,276	1,749	1,788	1,933	2,327	1,417	913	812	762	569	530	607	740	907	1,071	1,311	685	541	556	823
□ 上期総需要	1,302	1,383	1,653	2,467	2,609	3,266	3,367	2,766	2,035	1,737	1,863	2,247	1,821	1,019	792	697	644	536	571	642	811	982	1,148	1,237	415	499	525
通期総需要	2,616	2,773	3,502	5,222	5,648	6,755	6,540	5,042	3,784	3,525	3,796	4,574	3,238	1,932	1,604	1,459	1,213	1,066	1,178	1,382	1,718	2,053	2,459	1,922	956	1,055	1,348

01年から10年間の平均年間総需要は1,500台。

建設用クレーン

国内ｼｪｱ 51.5%→46.2%で2位（14台差、32年振りの2位）

油圧式建設用ｸﾚｰﾝ国内総需要 1,348台（11年度、当社調べ） 前期比27.8%増

⇒**販売価格の適正化**に取組み、ｼｪｱは低下したが、**ﾄﾝ数ｼｪｱでは、47.2%→46.2%でﾄｯﾌﾟ堅持。**

国内売上高は241億4千6百万円（前期比 121.5%）

【ラフテレーンクレーン 】

- 国内建設用ｸﾚｰﾝの中心機種
  国内総需要の93%（北米総需要の67%）
- 市街地の建築工事に欠かせない都市型ｸﾚｰﾝ
- ｺﾝﾊﾟｸﾄな車体で、狭小地でも性能発揮
  （前輪、後輪共にｽﾃｱﾘﾝｸﾞ可能）
- ｸﾚｰﾝの運転席と自動車の運転席が兼用
- 国内向け12～60t吊り 5機種
  （排ｶﾞｽ対応、動態管理ｼｽﾃﾑ搭載）
- 海外向け12～80t吊り 5機種
  （国内海外向け共にﾀﾀﾞﾉ製造）
- 国内は一般道走行
  北米はﾄﾚｰﾗｰ輸送

GR-250N



写真製品：08年7月発売

【オールテレーンクレーン】

- 国内では都市開発、高架･橋梁工事向けの大型ｸﾚｰﾝ
  国内総需要の7%
  （欧州総需要の86%）
- 遠距離走行性に加え
  小回り性にも優れる。

ATF360G



（写真製品：10年2月発売
ﾌｧｳﾝ製造日本向け機種 第3弾
6軸中6軸全てｽﾃｱﾘﾝｸﾞ可能）

- 国内向け60～550t吊り 7機種
  （ﾀﾀﾞﾉ製造；ｷｬﾘﾔは独ﾌｧｳﾝ製）
- 海外向け40～400t吊り 9機種（独ﾌｧｳﾝ製造）
- 国内一般道走行時には分解搬送が必要
  欧州では分解走行不要

建設用クレーン

【トラッククレーン】

・走行性に優れたﾄﾗｯｸに架装したｸﾚｰﾝ。国内総需要は数台、主に海外向け
・遠距離走行性に優れる。
・国内向け20t吊り2機種（ﾀﾀﾞﾉで製造）
・海外向け30～80t吊り8機種（ﾀﾀﾞﾉと独ﾌｧｳﾝで製造）

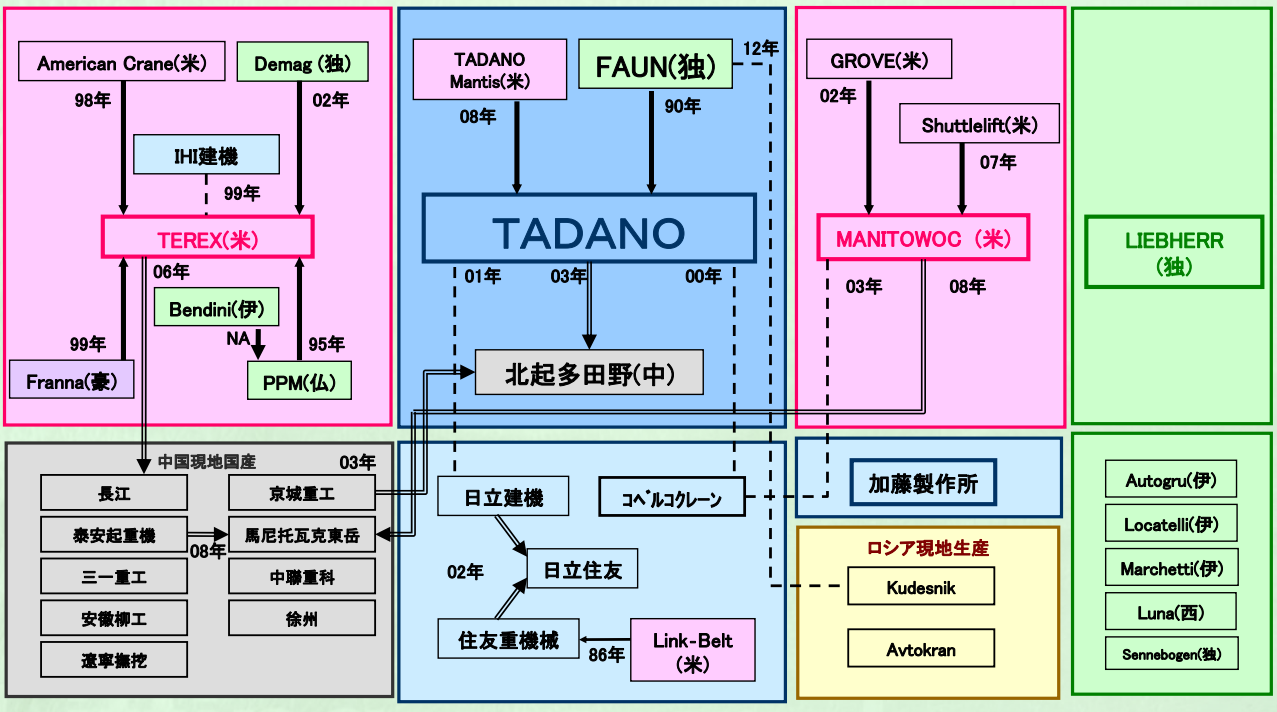


・北起多田野(中国)から55tﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝの輸出。機種を拡大予定。
・ブラジル新工場にて、現地製ﾄﾗｯｸへの架装開始。

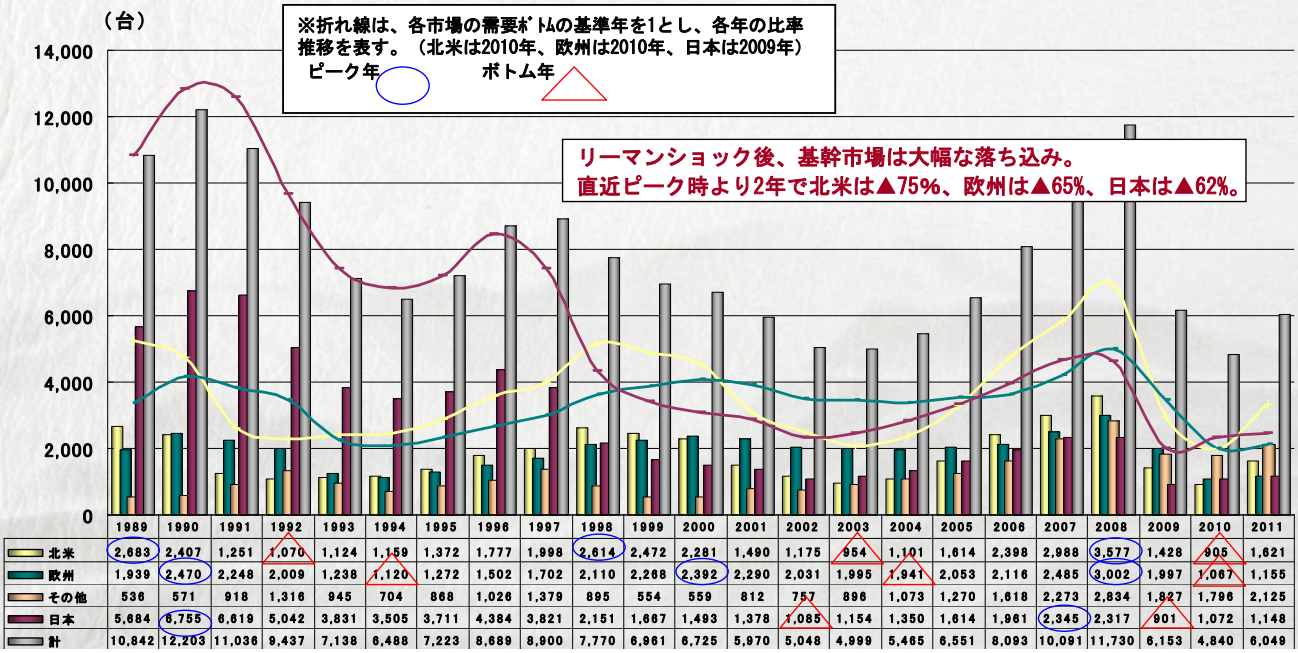
【建設用クレーンの共通事項】

・監督官庁：国土交通省（自動車の規制）及び厚生労働省（ｸﾚｰﾝの規制）
　排ｶﾞｽ規制、騒音規制の強化、走行規制（ｵｰﾙﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ等大型機種の分解搬送）の取締り強化
・国内販売先：ｸﾚｰﾝ工事業（ｾﾞﾈｺﾝの一次・二次下請で、ｸﾚｰﾝ免許を有するｵﾍﾟﾚｰﾀｰ付でｸﾚｰﾝを現場派遣）
・販売特徴：90年代迄は業界慣行で手形による割賦販売が多かったが、現在はﾌｧｲﾅﾝｽﾘｰｽ会社経由へｼﾌﾄ
・国土交通省直轄工事における排ガス規制：2012年4月から第2次基準値適合車の使用原則化
　⇒復興工事への影響を考慮し、規制強化を延期
・日本向けRC 3.5次排ガス規制
　原動機出力130kW以上 2013年 4月以降　　130kW未満 2013年11月以降
・北米向けRC排ガス規制　①Tier4 Interim 2011年1月以降　②Tier4 2014年1月以降
・欧州向けAC排ガス規制　①EuromotoⅢB 2011年1月以降　②EuromotoⅣ 2014年1月以降

クレーン業界図(油圧式ｸﾚｰﾝﾒｰｶｰ・ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝﾒｰｶｰ)



建設用クレーンの世界総需要の推移(11年1-12月暦年ベース)

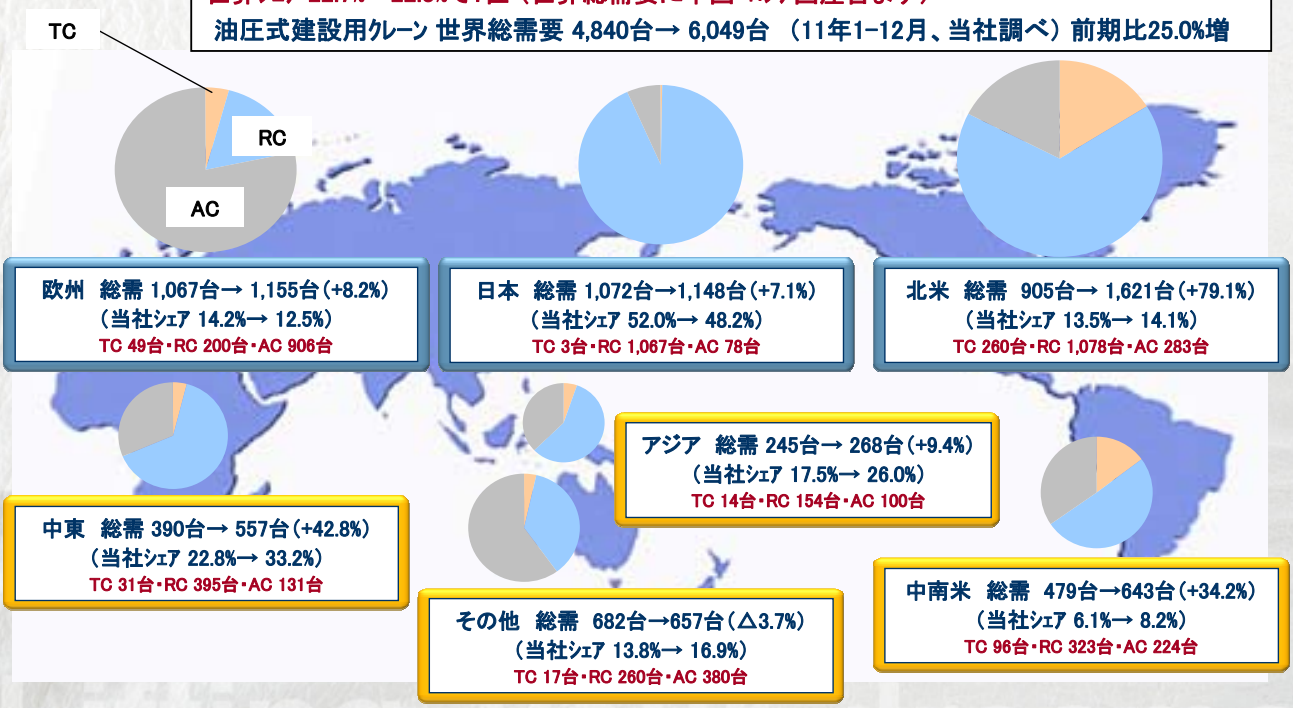


	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
北米	2,683	2,407	1,251	1,070	1,124	1,159	1,372	1,777	1,998	2,614	2,472	2,281	1,490	1,175	954	1,101	1,614	2,398	2,988	3,577	1,428	905	1,621
欧州	1,939	2,470	2,248	2,009	1,238	1,120	1,272	1,502	1,702	2,110	2,268	2,392	2,290	2,031	1,995	1,941	2,053	2,116	2,485	3,002	1,997	1,067	1,155
その他	536	571	918	1,316	945	704	868	1,026	1,379	895	554	559	812	757	896	1,073	1,270	1,618	2,273	2,834	1,827	1,796	2,125
日本	5,684	6,755	6,619	5,042	3,831	3,505	3,711	4,384	3,821	2,151	1,667	1,493	1,378	1,085	1,154	1,350	1,614	1,961	2,345	2,317	901	1,072	1,148
計	10,842	12,203	11,036	9,437	7,138	6,488	7,223	8,689	8,900	7,770	6,961	6,725	5,970	5,048	4,999	5,465	6,551	8,093	10,091	11,730	6,153	4,840	6,049

1. 海外市場の89～91年はSYSTEMATIC及びCIMAの統計データより当社推計。92年以降はCIMA/CEMA/FEMの統計データより当社推計
2. 中国・CIS産の建設用ｸﾚｰﾝは上記に含まず。また、北米市場のﾌﾞｰﾑﾄﾗｯｸは含まず。 (ｽﾗｲﾄﾞ21の下段参照)

建設用クレーン 地域別需要機種構成(11年1-12月暦年ベース)

世界ｼｪｱ 22.7%→22.3%で1位(世界総需要に中国・ﾛｼｱ国産含まず)
油圧式建設用ｸﾚｰﾝ 世界総需要 4,840台→ 6,049台 (11年1-12月、当社調べ)前期比25.0%増



欧州 総需 1,067台→ 1,155台(+8.2%)
(当社ｼｪｱ 14.2%→ 12.5%)
TC 49台・RC 200台・AC 906台

日本 総需 1,072台→1,148台(+7.1%)
(当社ｼｪｱ 52.0%→ 48.2%)
TC 3台・RC 1,067台・AC 78台

北米 総需 905台→ 1,621台(+79.1%)
(当社ｼｪｱ 13.5%→ 14.1%)
TC 260台・RC 1,078台・AC 283台

アジア 総需 245台→ 268台(+9.4%)
(当社ｼｪｱ 17.5%→ 26.0%)
TC 14台・RC 154台・AC 100台

中東 総需 390台→ 557台(+42.8%)
(当社ｼｪｱ 22.8%→ 33.2%)
TC 31台・RC 395台・AC 131台

その他 総需 682台→657台(△3.7%)
(当社ｼｪｱ 13.8%→ 16.9%)
TC 17台・RC 260台・AC 380台

中南米 総需 479台→643台(+34.2%)
(当社ｼｪｱ 6.1%→ 8.2%)
TC 96台・RC 323台・AC 224台

※TCはﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ、RCはﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ、ACはｵｰﾙﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝを表す。
数値は、当社推計。その他は、ｵｾｱﾆｱ、CIS、ｱﾌﾘｶ。 台数・ｼｪｱは、前年同期からの変化を示す。

欧州事業　～オールテレーンクレーンのフルレンジ化～

●FAUNグループの概要

【 FAUN GmbH 】
90年に買収、資本金：45百万EUR　当社100%出資
所在地：ﾄﾞｲﾂ国ﾊﾞｲｴﾙﾝ州、事業内容：建設用ｸﾚｰﾝの開発・製造
代表者：社長　ｱﾚｸｻﾝﾀﾞｰ･ｸﾈﾋﾄ、従業員：465人

【 TADANO FAUN GmbH 】
資本金：5百万EUR　FAUN社100%出資、所在地：FAUN社と同じ
事業内容：建設用ｸﾚｰﾝの販売
代表者：社長　大屋敷 智、従業員：103人



●グループ売上高の推移
04年：114百万EUR/206台、05年：175百万EUR/271台、06年：218百万EUR/331台、 07年：266百万EUR/373台
08年：309百万EUR/502台、09年：270百万EUR/381台、10年：178百万EUR/213台、 11年：204百万EUR/248台

●FAUNグループの再編
グループの業務効率向上を目指して12年にFAUN GmbHとTADANO FAUN GmbHを合併。（4月に合併登記）

●試験場用地を取得
FAUN工場北30kmに超大型ACの試作機等をテストする試験場用地6.5万㎡を2.5百万EURで取得。

●部品製造合弁会社
設立：08年9月、所在地：ﾄﾞｲﾂ国ﾊﾞｲｴﾙﾝ州FAUN社工場内
会社名：【TADANO FAUN Stahlbau GmbH（ﾀﾀﾞﾉﾌｧｳﾝｼｭﾀｰﾙﾊﾞｳ）】
資本金：650千EUR（出資比率　FAUN社 80%、ｱﾑﾛﾝ10%、香西鉄工所10%）
事業内容：FAUN社向け建設用ｸﾚｰﾝ部品(ｼﾞﾌﾞ等)の製造
代表者：社長　作田 実（当社）、従業員：7人



米州事業　～北米でのシェアアップと南米への取り組み～

●米州グループ会社の概要



【 TADANO America Holdings, Inc. 】
資本金：51百万USD　当社100%出資
所在地：米国ﾃｷｻｽ州、事業内容：米州持株会社
代表者：社長 柿沼 陽

【 TADANO America Corp. 】
資本金：2.5百万USD　TAHI社100%出資、所在地：TAHIと同じ
事業内容：建設用ｸﾚｰﾝの販売
代表者：社長 柿沼 陽、従業員：45人
売上高の推移：04年 30百万USD、05年 80百万USD、06年 95百万USD、07年 142百万USD、
08年145百万USD、09年105百万USD、10年 78百万USD、11年 183百万USD
・11年3月パナマ事務所新設（ﾌﾞﾗｼﾞﾙを除く中南米を担当）



【 TADANO Mantis Corp. 】
08年に買収、資本金：287千USD　TAHI社100%出資
所在地：米国ﾃﾈｼｰ州、事業内容：油圧伸縮ﾌﾞｰﾑ式ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝの製造・販売
代表者：社長 森田 士朗 、従業員：134人
主要製品：伸縮ﾌﾞｰﾑ式ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（履帯式の足回りを持つｷｬﾘﾔに油圧伸縮するﾌﾞｰﾑを持つｸﾚｰﾝを組み合わせた製品）。主に土木・建設工事に使われ、不整地や泥濘地、ﾄﾝﾈﾙ内での作業などに適する。
売上高の推移：08年 41百万USD、09年 33百万USD、10年 16百万USD
11年 34百万USD

【 TADANO BRASIL EQUIPAMENTOS DE ELEVACAO LTDA. 】
資本金：10百万R$　当社51%出資　当社販売代理店TDB及びｶﾝﾎﾟｽ氏49%出資
所在地：ﾌﾞﾗｼﾞﾙ共和国ｻﾝﾊﾟｳﾛ州、事業内容：建設用ｸﾚｰﾝ等の製造・販売・サービス
代表者：ﾏﾙｼｵ・ｷﾞﾏﾚｽ・ｶﾝﾎﾟｽ、従業員12人
11年4月設立、11月工場竣工、12年4月末稼動の予定。



中国事業　～価格差1.2～1.3倍の実現と中国域外への輸出～

●油圧式クレーンの中国市場の状況

11年暦年の油圧式ｸﾚｰﾝ総需要は35,000台（前年同ﾚﾍﾞﾙ）、中国国産のﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝがほとんど（当社調べ）
07年19,500台（+38%）→08年21,500台（+10%）→09年27,000台（+26%）→10年35,000台（+30%）
なお、吊り上げ能力25t以下の小振りのｸﾚｰﾝが、11年総需要の88%と大半を占める。個人ﾕｰｻﾞｰ増加と推定。

●建設用ｸﾚｰﾝ合弁会社【北起多田野（北京）起重機有限公司】の概要

資本金：30百万USD 当社50%、北京京城重工機械有限責任公司50%出資（設立03年3月）
所在地：北京市順義区林河（北京市街から約25km北西）　工場3.6万㎡、工場用地12万㎡
事業内容：ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ等の製造販売、8～100ｔ吊りTC 8機種
総経理　内田 秀三（当社）、従業員　327人
08年 売上337台 ｼｪｱ1.4% 売上高3.6億元、09年 売上212台 ｼｪｱ0.8% 売上高2.2億元
10年 売上254台 ｼｪｱ0.7% 売上高2.5億元、11年 売上230台 ｼｪｱ0.6% 売上高3.1億元
◆06年1月に当社 追加出資1千万US$を実施。
・ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ製造を自動車産業該当との当局見解を踏まえ、上限の50%まで追加出資
※現時点では、連結対象とはならず、ｸﾞﾙｰﾌﾟ業績に与える影響はほとんどない。


北起多田野


京城多田野

●油圧部品合弁会社【京城多田野（北京）液圧機器有限公司】の概要

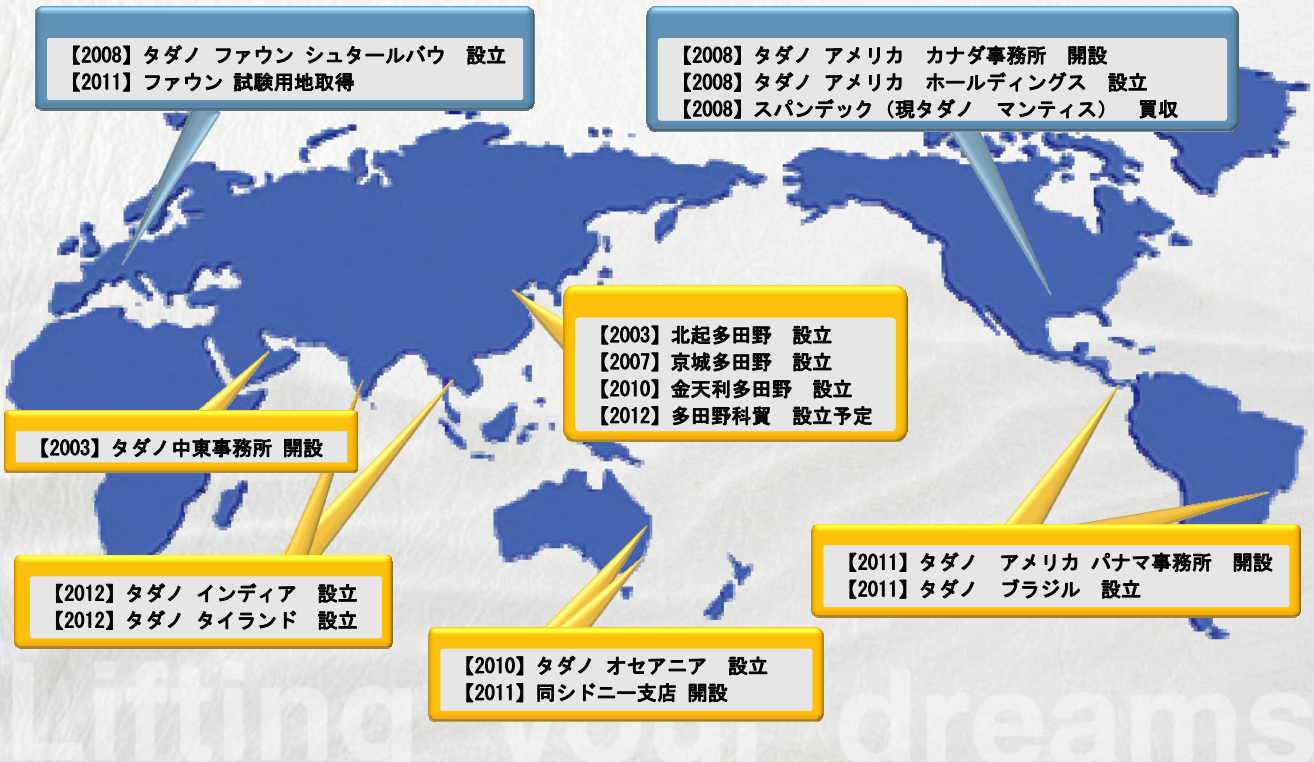
資本金4百万USD:当社65%、三村鉄工5%、村上製作所5%、京城重工25%（設立07年9月）
所在地:北京市通州区(北京市街から約20km東）、工場0.8万㎡、工場用地1.3万㎡
総経理 中柄 清行（当社）、従業員93人
事業内容：建機用油圧部品（ﾊﾞﾙﾌﾞ、ﾛｰﾀﾘｰｼﾞｮｲﾝﾄ、小型ｼﾘﾝﾀﾞ、配管等）の製造販売
（香川県の協力工場の出資や協力を得る合弁は初。）


金天利多田野

●金属加工部品合弁会社【金天利多田野（河北）金属加工有限公司】の概要

資本金5.5百万USD:当社56%、アムロン5%、カワニシ5%、河北金天利34%（設立10年1月）
所在地:河北省涿州市開発区（北京市街から約60km南西）、工場1万㎡、工場用地3.3万㎡
総経理 村上 照幸（当社）、従業員104人
事業内容：建機用金属加工部品（ﾌﾞｰﾑ･ｼﾞﾌﾞ･ｱｳﾄﾘｶﾞ等）の製造販売。

2003年以降の海外展開　～11社設立・買収、5拠点新設 ～



車両搭載型クレーン

【カーゴクレーン】国内ｼｪｱ 47.2%→46.3%（2年ぶり2位）

国内総需要 10,330台（11年度、当社調べ） 前期比42.8%増

⇒復興関連需要やｴｺｶｰ補助金等によるﾄﾗｯｸ需要の増加もあり、

売上高は、113億7千2百万円（前期比 139.8%）

- 通常のﾄﾗｯｸに架装した小型ｸﾚｰﾝ、貨物の積載･運搬･設置作業等が1台で可
- 物流用途、造園業や建設業用途、ﾄﾗｯｸﾃﾞｨｰﾗｰの間接販売
- 小型･中型･大型ﾄﾗｯｸ架装用に多数の機種 0.49t～4.9t吊り

～監督官庁～
- 主に厚生労働省（ｸﾚｰﾝの規制）

～主な販売先と特徴～
- 国内ﾄﾗｯｸﾃﾞｨｰﾗｰ
- ﾄﾗｯｸ需要に左右される傾向

- ｶｰｺﾞｸﾚｰﾝの戦略市場向け輸出に注力。ｸﾚｰﾝ部を輸出し、現地にてﾄﾗｯｸに架装。
  10年度売上：9億8千万円 → 11年度売上：12億円
- 12年4月にタイに製造子会社を設立し、海外展開を加速。



（写真製品：北米向け20t吊りﾌﾞｰﾑﾄﾗｯｸ）



（写真製品：輸出ｶｰｺﾞｸﾚｰﾝZR560）

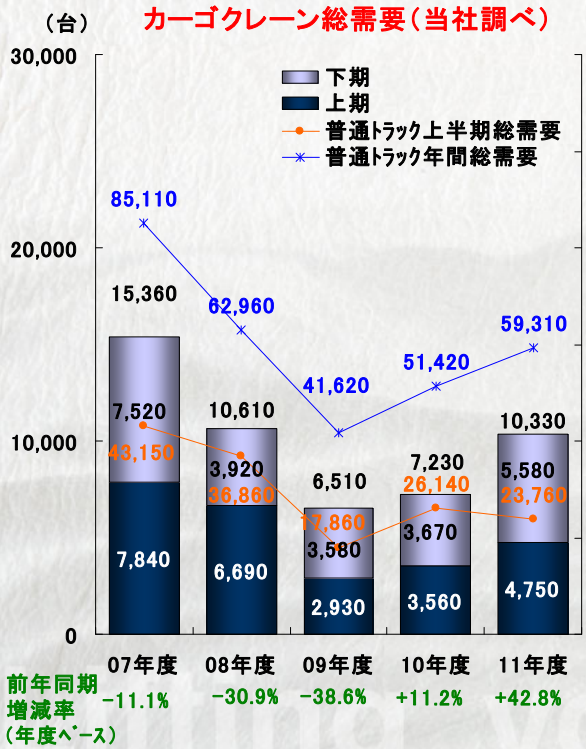


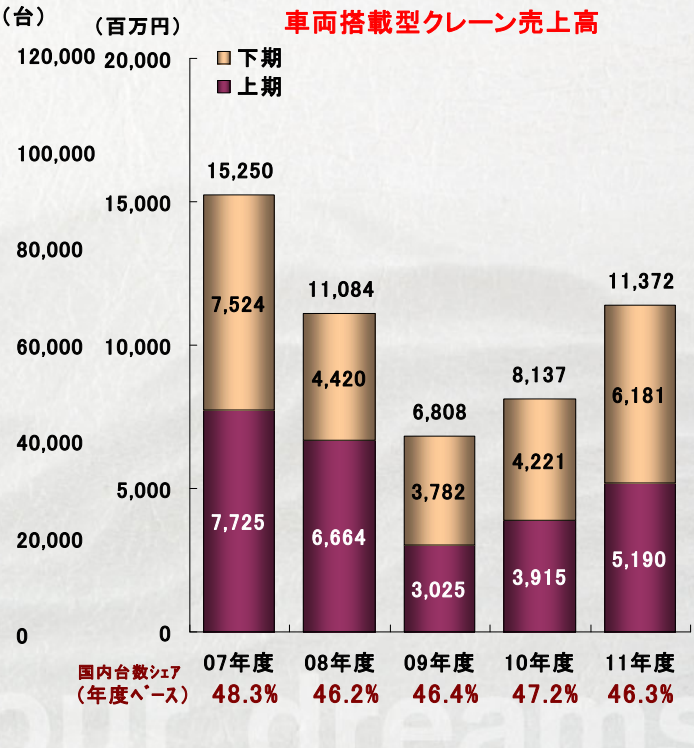
（写真製品：積載型ｸﾚｰﾝ初の「ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ」機能をｵﾌﾟｼｮﾝ設定



（写真製品：11年4月発売
業界初のﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ仕様ｽﾗｲﾄﾞｷｬﾘﾔ）

車両搭載型クレーン





高所作業車

国内ｼｪｱ 38.0%→38.2%で2位（過去最高ｼｪｱ）

ﾄﾗｯｸ搭載ﾀｲﾌﾟ国内総需要 2,891台（11年度、当社調べ） 前期比24.7%増

⇒需要回復が顕著なﾚﾝﾀﾙ業界向け販売に注力した結果、
売上高は、117億8千9百万円（前期比 116.9%）

・電気･通信工事用
（通信用6機種、電工用3機種）
・看板や内外装等の一般工事用
（一般用12機種､ﾎｲｰﾙ3機種）
・足回りはﾄﾗｯｸだけでなく、
ﾎｲｰﾙ､ｸﾛｰﾗもあり

・高度な制御技術を装備した
独自製品「スーパーデッキ」5機種
・高架道路や橋梁点検のための
「高架橋梁点検車」3機種



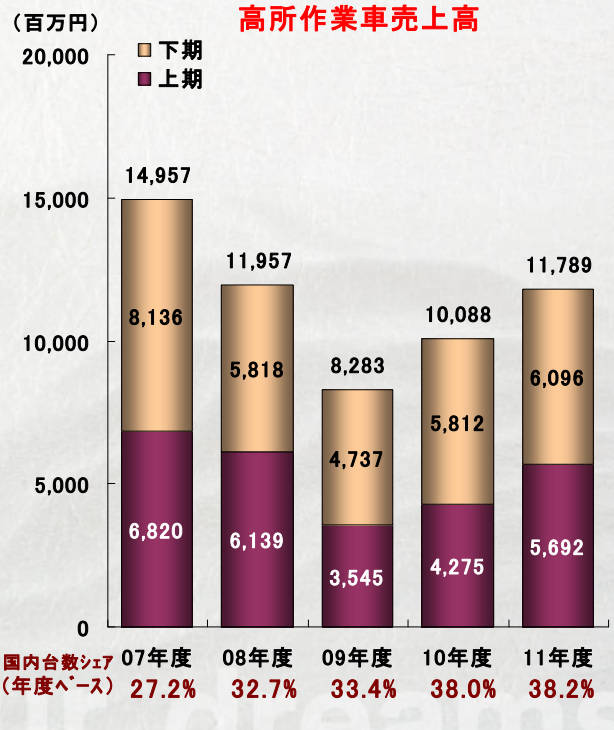
～監督官庁～
・主に厚生労働省（高所作業車の規制）
～主な販売先と特徴～
・電力電工､通信､ﾚﾝﾀﾙ､一般、造船、国土交通省。
・当社は､高付加価値のｽｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ及び高架橋梁点検車の販売に注力

高所作業車

国内高所作業車総需要（当社調べ）



高所作業車売上高



その他

⇒部品、修理、中古車等のその他売上高は、246億7百万円（前期比 101.9%）

【中古クレーン】
- 08年度後半に、円高と需要急減により中古車価格が急落したが、09年度に入り落ち着く。
- 11年7月以降急激な円高の一方で、品不足もあり、中古国内価格は上昇傾向。
- 当期は、国内は横ばい、海外は減少。

【部品修理】
- 当社は、修理用の部品売上を計上
（修理は、主に国内指定ｻｰﾋﾞｽ工場や海外代理店が担当し、ｻｰﾋﾞｽ工場や海外代理店で売上計上）
- 当期は、国内海外ともに増加。

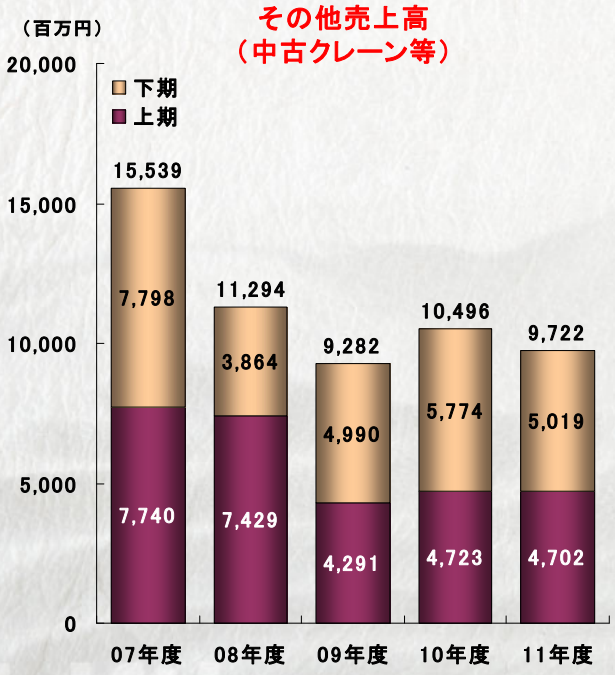


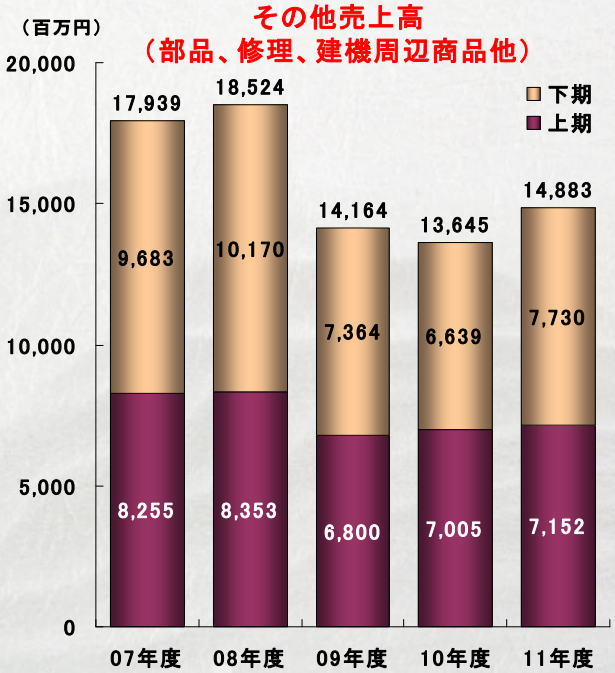
オールテレーンクレーンブーム着脱作業例 CL-500

【オールテレーンクレーン着脱リフター】
- 公道走行に際して、法令に基づき分解・搬送を必要とする国内オールテレーンクレーンの着脱用リフター

Lifting your dreams

その他





Lifting your dreams

12年度業績予想

（単位：百万円）

	11年度		12年度予想		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	114,209	100.0%	132,000	100.0%	17,791
営業利益	5,895	5.2%	7,500	5.7%	1,605
経常利益	5,778	5.1%	7,000	5.3%	1,222
当期純利益	3,145	2.8%	4,500	3.4%	1,355

1株当たり配当金	中間	0.00円	中間	5.00円
	期末	7.00円	期末	5.00円
	年間	7.00円	年間	10.00円

	11年度	12年度計画
設備投資額	1,584百万円	3,800百万円
減価償却費	2,353百万円	2,600百万円
為替レート(US$)	79.84円	80.00円
為替レート(EUR)	111.12円	105.00円

※設備投資額にはﾘｰｽ資産分を含んでおります。

【今後３～４年の考え方】

- 日本市場
  →売価の適正化で「質」を高める。
- 海外市場
  →「量」を求め、海外比率を高める。

【12年度の経営方針】

①ｺｱﾊﾞﾘｭｰの追求「安全・品質・効率」
②収益力の強化
③中計（11-13）の7つの戦略への取り組み

【中期経営計画（11-13）の7つの戦略】

●事業戦略
①戦略市場の攻略
②環境対応製品の開発
③超大型LE製品の開発

●競争力強化
①コスト競争力の強化
②品質とサービスの強化

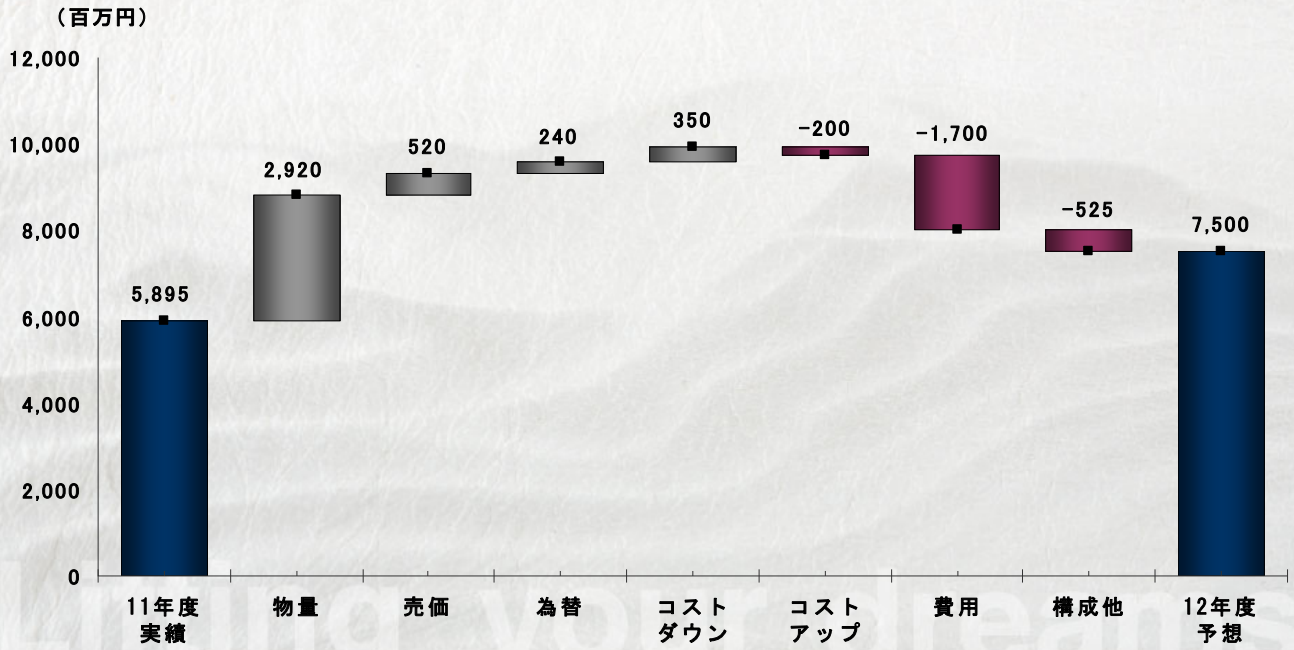
●基盤強化
①ものづくり力の強化
②組織と人財のグローバル化

⇒2012年は拠点の構築・強化により、戦略市場での取り組みを加速

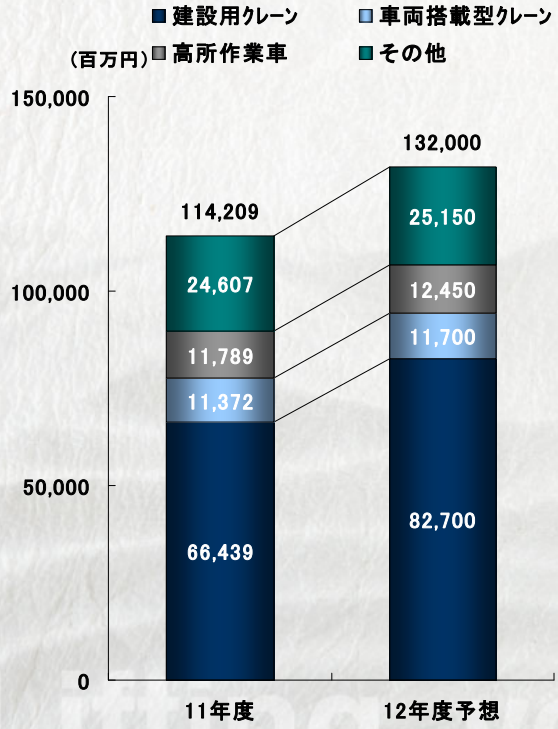
■12年度通期海外売上高比率 52.8%

12年度業績予想（営業利益の増減要因）

売上増に加えて販売価格の適正化を継続するものの、費用の増加や構成の変化等の影響もあり、営業利益は16億円の増加。



12年度業績予想(製品別売上高)



(単位:百万円)

	11年度		12年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	66,439	58.2%	82,700	62.7%	16,261	24.5%
車両搭載型クレーン	11,372	10.0%	11,700	8.9%	327	2.9%
高所作業車	11,789	10.3%	12,450	9.4%	661	5.6%
その他	24,607	21.5%	25,150	19.0%	543	2.2%
合計	114,209	100%	132,000	100%	17,791	15.6%

【製品別ポイント】

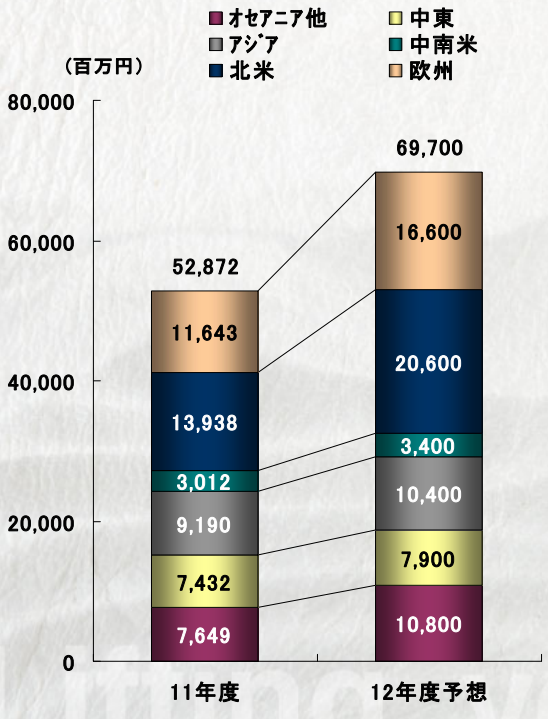
◆建設用ｸﾚｰﾝ　＋162億円
(国内) 老朽化による買い替えで、売上増 9億円
(海外) 北米を中心に需要回復、売上増 153億円

◆車両搭載型ｸﾚｰﾝ　＋3億円
国内需要は横ばい

◆高所作業車　＋6億円
国内需要の回復を見込む

◆その他　＋5億円
中古車で売上増

12年度業績予想(仕向地別売上高)



(単位:百万円)

	11年度		12年度予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	11,643	10.2%	16,600	12.6%	4,957	42.6%
北米	13,938	12.2%	20,600	15.6%	6,662	47.8%
中南米	3,012	2.6%	3,400	2.6%	388	12.9%
アジア	9,190	8.1%	10,400	7.9%	1,210	13.2%
中東	7,432	6.5%	7,900	6.0%	468	6.3%
オセアニア他	7,654	6.7%	10,800	8.1%	3,146	41.1%
小計(海外計)	52,872	46.3%	69,700	52.8%	16,828	31.8%
日本	61,337	53.7%	62,300	47.2%	963	1.6%

※左のグラフには、日本を含んでおりません。